

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

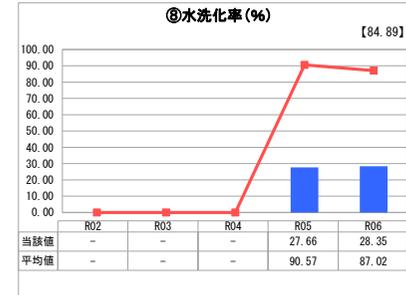
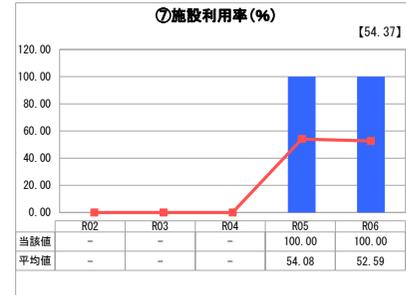
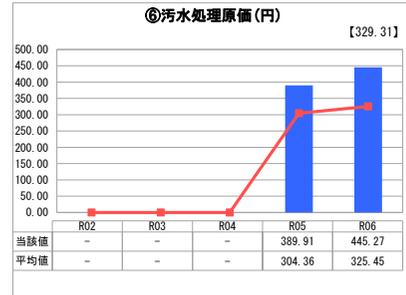
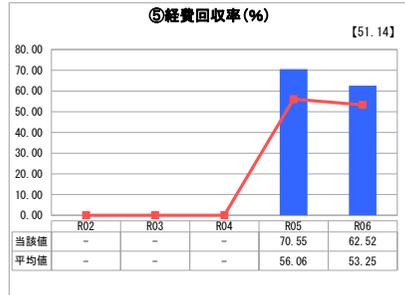
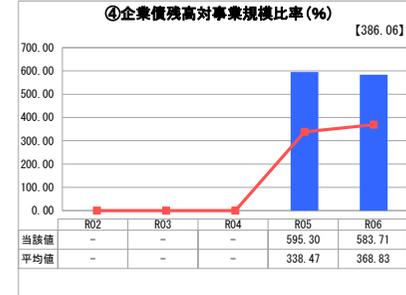
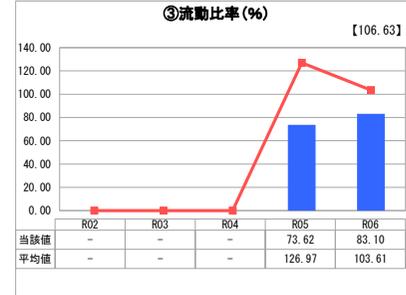
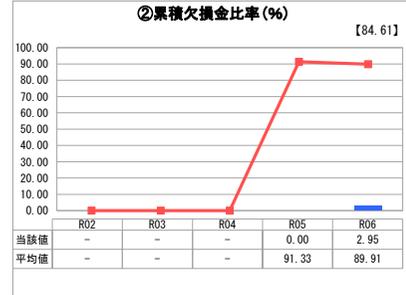
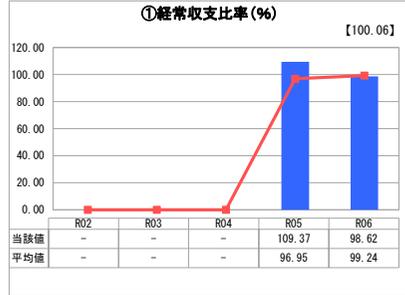
熊本県 和木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	70.39	81.87	100.00	4,400

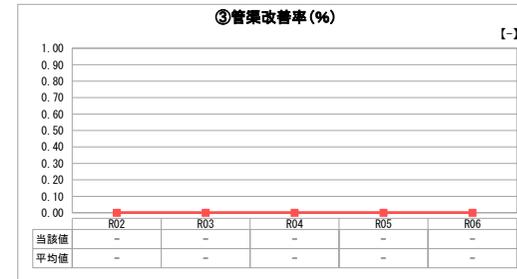
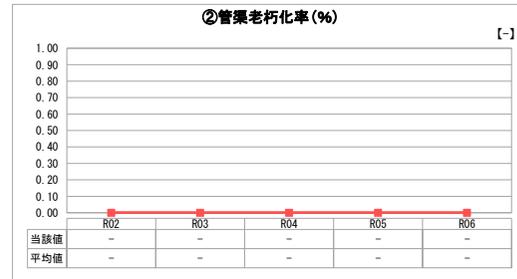
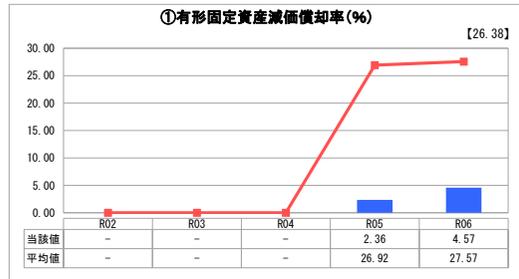
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,007	98.78	91.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,326	98.10	74.68

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

前年度との比較し、和木町浄化槽長寿命化計画の策定や維持管理費のによる費用増加のため、計上の収支比率について、前年度より減少しました。  
また、経費回収率は平均値より低く、汚水処理原価は平均値より高い傾向にあり、一般会計からの基準外繰入金に頼っている状況です。  
今後も経年劣化による浄化槽の改修・更新により、維持管理費用の増大や企業債からの借入増加が見込まれます。  
今後は令和6年度末に見直しを行った和木町下水道経営戦略にて料金改定を含めた検討を行う必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

本事業で整備を行っている合併浄化槽については、耐用年数が30年程度と見込んでいます。  
また、本事業は平成14年度に旧和木町において取り組みを始めており、現時点では整備済みの浄化槽で耐用年数に達したものはない状況です。しかし、今後は耐用年数の近づいた浄化槽の修繕・更新が必要となります。  
そのため、新規整備に加え、令和6年度末に策定した「和木町浄化槽長寿命化計画」に基づき、既存設置の浄化槽における改築や修繕を行い、長寿命化を図ります。

### 全体総括

特定地域生活排水処理事業において、年々設備の故障による修繕費は増加傾向にあり、今後も増加が見込まれます。  
今後は、定期的な維持管理を徹底のほか、「和木町浄化槽長寿命化計画」に基づき、費用対効果のある施設の更新に務め、経営基盤の強化を図ります。  
また、和木町下水道事業経営戦略に基づき、特定環境保全公共下水道事業と併せて、特定料金体系のあり方を再検討する予定です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。